

この夏、国立西洋美術館に出逢う

——く——とく——が触れるとき



[上] ウィリアム・アドルフ・ブーロー《少女》1878年、油彩／カンヴァス、国立西洋美術館  
[下] アンリ・ファンタン＝ラトゥール《花と果物、ワイン容れのある静物》(部分) 1865年、油彩／カンヴァス、国立西洋美術館

# 山形で考える西洋美術

令和3年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館コレクションによる



オーギュスト・ロタン《青銅時代》1877年(原型)、ブロンズ、松方コレクション、国立西洋美術館撮影。©上野則宏

## 2021 7/17 [土] - 8/27 [金]

開館時間＝午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日＝毎週月曜日(祝日・振り替え休日の場合はその翌平日) ※ただし、8月23日(月)は開館  
料 金＝一般：1200円(1000円)、高大生：800円(600円)、小中生：400円

※( )内は前売り料金、小中生は当日のみ。  
※20名以上の団体料金は当日料金の2割引き。会期中の土曜日は小中生の観覧料無料。  
※障がい者手帳をご提示の方と付添者1名の観覧料は当日料金の半額。  
※山形美術館キャンパスメンバーズ制度登録校の学生は学生証の提示により無料。

【前売り券取扱所】

山形新聞・山形放送本社、支社、山形新聞販売店、山形美術館、  
チケットぴあ(Pコード：685-693)、ローソンチケット(Lコード：21706)、  
セブン-イレブン(セブンチケット)、e+(イープラス)、ファミリーマート、楽天チケット(<http://r-t.jp/>)

山形新聞・山形放送 8 大事業



主催／国立西洋美術館、山形美術館、山形県、  
山形新聞・山形放送

共催／公益財団法人山形県生涯学習文化財団  
後援／山形県教育委員会、山形県芸術文化協会、  
山形市、山形市教育委員会、山形市芸術文化協会

令和3年度文化芸術創造拠点形成事業

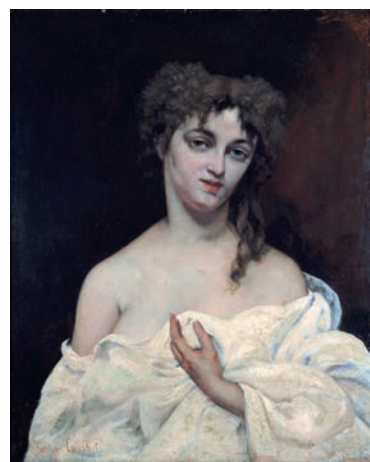


山形美術館  
Yamagata Museum of Art

# 西洋美術の歴史を彩る作品の数々が来県!

このたび国立西洋美術館のコレクションより、山形で西洋美術を考える展覧会を開催します。同館は1959年の開館以来、松方コレクションをはじめとする良質な西洋美術の作品および資料を収集・展示し、調査研究・保存修復・教育普及等の活動を行っています。本展では西洋美術の歴史を彩るヴェロネーゼ、エル・グレコ、フラゴナール、ドラクロワ、ルノワールなど、ルネサンスから20世紀にかけて活躍した作家たちの作品を紹介します。また国立西洋美術館といえばロダンの彫刻を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。そのロダンの山形市出身の彫刻家・新海竹太郎の関わり合い、そして山形の「洋画」と国立西洋美術館収蔵品の展示も見どころです。〈ここ〉山形の地と〈遠く〉の西洋美術が触れ合う豊かなひとときをお楽しみください。

- 第1章 山形生まれの彫刻家が見た〈遠く〉の夢——持ち帰られた記憶たち  
ロダン《青銅時代》、新海竹太郎《ゆあみ》、新海竹太郎装幀/大塚楠緒子著『晴小袖』ほか
- 第2章 自分たちのものではない記憶のコレクション——日本に「西洋美術館」があるということ  
ヴェロネーゼ《聖カタリナの神秘の結婚》、エル・グレコ《十字架のキリスト》ほか
- 第3章 〈ここ〉と〈遠く〉が触れるとき——西洋と山形の近代以降の芸術  
ドラクロワ《墓に運ばれるキリスト》、クールベ《肌ぬぎの女》、モリゾ《黒いドレスの女性(観劇の前)》、ルノワール《木かげ》、セザンヌ《ポントワーズの橋と堰》ほか



【図版】  
1 ビエール=オーギュスト・ルノワール《木かげ》1880年頃、油彩/カンヴァス、松方コレクション、国立西洋美術館  
2 パオロ・ヴェロネーゼ(本名パオロ・カリアリー)《聖カタリナの神秘の結婚》1547年頃、油彩/カンヴァス、国立西洋美術館  
3 ウジェーヌ・ドラクロワ《墓に運ばれるキリスト》1859年、油彩/カンヴァス、国立西洋美術館  
4 ギュスターヴ・クールベ《肌ぬぎの女》1867年、油彩/カンヴァス、松方コレクション、国立西洋美術館  
5 ベルト・モリゾ《黒いドレスの女性(観劇の前)》1875年、油彩/カンヴァス、国立西洋美術館  
6 ビエール・ボナール《花》1933年頃、油彩/カンヴァス、国立西洋美術館

ご来館の皆さまへのお願い  
①マスクの着用、せきエチケット、手洗いや手指消毒にご協力ください。  
②風邪症状(せき・咽頭痛など)がある方、検温により37.5℃以上の方のご入館はご遠慮ください。  
\*新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて展示・開催内容は変更になる場合がございます。  
最新情報は当館ウェブサイトをご覧ください。

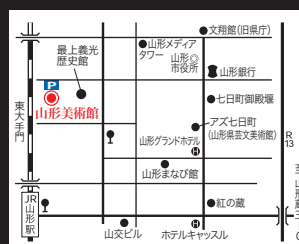
## 関連イベント

【スライドトーク】 展覧会の見どころをご紹介します  
日時:7月24日(土) 14:00~15:30  
講師:新藤 淳(本展企画者・国立西洋美術館主任研究員)

【講演会】  
私の好きな国立西洋美術館  
日時:8月9日(月・振り替え休日) 14:00~15:30  
講師:元木幸一 氏(山形大学名誉教授)

【講演会】  
「モネとロダンの・・・」  
——もうひとつの国立西洋美術館  
日時:8月21日(土) 14:00~15:30  
講師:幸福 輝 氏(元国立西洋美術館チーフ・キュレーター)

※会場は山形美術館3階ホール(定員60名)  
※要観覧料、申し込み不要(先着順)  
※イベントの最新情報は当館ウェブサイトをご覧ください。



**山形美術館**  
Yamagata Museum of Art  
〒990-0046 山形市大手町1-63  
Tel.023-622-3090 Fax.023-622-3145  
http://www.yamagata-art-museum.or.jp/  
■交通  
徒歩/J R山形駅(東口)より徒歩15分  
バス/山形駅前から「天童(荒谷経由)」行、「山寺」行で約5分、美術館前下車徒歩3分  
ベニちゃんバス/中心市街地行(約15分)おき運行/で約12分、霞城公園(大手門ハルス)前下車徒歩4分  
車/山形自動車道山形蔵王ICから約15分

問い合わせ先  
□展覧会について 山形美術館/023-622-3090  
□チケットについて 山形新聞社事業部/023-642-7955